

平和学習を通して思ったこと

読谷小学校

六年二組

古謝

知緒理

私は戦争は絶対にしてはいけないと思います。戦争が起きることでも辛い思いの犠牲者が出て人々が悲しみ、とても辛い思いをするからです。

私達六年生は今、総合で平和について勉強していきます。六月四日には、平和祈念公園・轟の壕・ずるせんの塔へ行つて、実際に体験したり、見学したりして戦争についていろいろ

いろいろ学びました。特に私が戦争のころにいたように感じられた体験は、轟の壕に入つたことです。轟の壕の中は真暗で、懐中電灯をつけないとまわりが見えない状態でした。また、大きな岩が何個も重なっているのので、険しく歩きづらかったです。私が思っていたより、中は熱くて、私達は約三十分くらいしか入っていません。轟の壕に避難していた人々は、三か月間もあの壕の中にいて怯えながら、かくれていたと私は思います。他には、平

和祈念公園の韓国人の慰霊塔で、ガイドさん
 が分かりやすく説明してくれましたので、その塔
 の意味がよく分かりました。この平和学習で
 は、戦争のことをたくさん学ぶことができた
 し、戦争の恐ろしさや悲劇も知ることができ
 ました。そして、平和のことについてたくさん学ん
 だ後、その経験を生かしながら、総合の授業
 に作る新聞や、六月十九日にする劇、「さっ
 ちゃん」の夏をしました。新聞を聞いてくれ
 た人達や、劇を見てくれた人達に私達六年生
 が「戦争の恐ろしさ」「平和の大切さ」を伝
 えていきました。私は、新聞に「集団自決」
 について調べて書き、劇では主人公の友達の
 Xグ役を一生懸命演じました。このようにし
 て私がこんなにもがんばることができたのは、
 平和学習を通して、今まで調べてきたことを
 無駄なく、戦争が分からない人に伝えたいと
 いう気持ちと、それを聞いた人達が、私達の
 ように「戦争はしてはいけない、これからも

戦争のない平和な世界にしたい。と思つてほ
しいからです。私にとってこの劇は、私の目
標を達成できたすばらしい劇に仕上がったと
思います。

私達が一生懸命調べたり、伝えたりするこ
とで、平和について考えてみるこゝとがでさま
した。また、戦争について調べてみたりし
私は、もう二度とこんな恐ろしい戦争を起こ
さず、みんなが笑つて幸せに過ごす世界にし
ていきたいです。

Empty grid lines for handwriting practice.